

令和7年3月24日現在

ピンク色のところが、みなさんが今作っている「年間目標」です。みなさん3本で作ってあるのですが学校の「精神(知)・社会(徳)・身体(体)」に近いです。その前提として「3つの資質・能力」「乳児の関わり」の3視点、「5領域」「10の姿」に照らし合わせてみて、足りないところがないか、考えてみましょう。

令和7年度 全体の計画 クラス別の年間目標														
●資質及び能力(幼児が領域に跨って獲得する事)	黄質・能力の3本の柱			ちっち組 年間目標	●領域(5領域)	指針のねらい (心情・意欲・知度)	ぐんぐん組 年間目標	にこにこ組 年間目標	●領域(5領域)	指針のねらい (心情・意欲・知度)	わいわい組 年間目標	らんらん組 年間目標	すいすい組 年間目標	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿10項目
	健康	(乳児)かかわりの3つの視点	指針のねらい(心情・意欲・知度)											
※乳児は三つの視点、幼児は5つの領域を区分されている基本的事項を十分に参照。	ア 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする「 知識及び技能の基礎 」	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を培う。	(1)身体感覚が育ち、快適な環境に心地よさを感じる。 (2)伸び伸びと体を動かして、はらう、歩くなどの運動をしようとする。 (3)食事、睡眠等の生活リズムの感覚が芽生える。	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。	健康	(1)明るくのびのびと生活し、自分から体を動かすことを楽しむ。 (2)自分の体を十分に動かし、様々な動きをしようとする。 (3)健康、安全な生活に必要な習慣に気付く、自分でもようとする気持ちがあふく。	・自分の思いや気持ちをたっぷり表現しながら、それを十分に受け止めてもらう中で、自分の気持ちに気付いていく。	・集団の中で一人ひとりが大切にされることで、自分でやりたいう意欲が育ち、食事・排泄・清潔・衣類の着脱などの基本的な生活習慣が身に付く。	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。	(1)明るくのびのびと行動し、充実感を味わう。 (2)自分の体を十分に動かして、進んで運動しようとする。 (3)健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付けて、見通しをもって行動する。	・わらす組の生活に慣れ、いきながら、習慣や態度を身につけていく。 ・身の回りの環境(空間/物/人)と関わりながら、自分で気付いたり考えたりしてやってみようとする。	・友達と一緒に全身を使った遊びを楽しみ、運動する心地よさを十分に味わう。 ・自分の体を大切に、適切な休息や食事など、自分に必要な選択を身に付けて行く。	・自分の好きなことや得意なことを深め、自分に自信をつける。 ・健康や安全な生活に必要な習慣や態度を身につけて、見通しを持って行動する。	ア 健康な心と体
	イ 気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、工夫したり、表現したりする「 思考力、判断力、表現力等の基礎 」	身近な人と気持ちが通じ合う 受容的・応答的な関わりの中で、何かを伝えようとする意欲や身近な大人との信頼関係を育て、人と関わる力の基礎を培う。	(1)安心できる関係の下で、身近な人と共に過ごす喜びを感じる。 (2)体の動きや表情、発声等により、保育士等と気持ちを合わせようとする。 (3)身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感が芽生える。	人間関係 他の人々と親しく、支え合ったり生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。 言葉 経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉に聞き、相手の話を聞き取る意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。	人間関係 ・友だちとの関わりの中で、少しずつ相手の気持ちにも目を向け、やりとりしてみようとする。 言葉 ・一人ひとりが安心して園生活を送る中で自分の思いを言葉で伝えたり、好きなことを見つけてお友達との世界が広がっていく。	人間関係 他の人々と親しく、支え合ったり協力して生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。 言葉 経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉に聞き、相手の話を聞き取る意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。	(1)保育所での生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 (2)身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ。 (3)社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	・友だちとの関わりの中で、思いやりや大切さを知る。 ・さまざまな友だちと関わりながら、それぞれ関係性を結び、お互いの良さや協力し合う喜びを知っていく。	・友だちや異年齢での関わりの中で、思いやりや大切さを知る。 ・自分なりの目標や友だちとの共通の目標を持つ中で、やり遂げる達成感や満足感を味わう。	・友だちや異年齢での関わりの中で、思いやりや大切さを知る。 ・自分なりの目標や友だちとの共通の目標を持つ中で、やり遂げる達成感や満足感を味わう。	イ 自立心 ウ 協同性	エ 道徳性・規範意識の芽生え オ 社会生活との関わり		
※要領上は乳児と満1歳に区分されているので、満1歳の誕生日を迎える前は保育、それ以降は教育及び保育に位置付けられる。	ウ 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「 学びに向かう力、人間性等 」	身近な環境に興味や好奇心をもって関わり、感じたことや考えたことを表現する力の基礎を培う。	環境 周囲の様々な環境に好奇心をもつ。 表現 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。	環境 一人ひとりに合った環境の中で、身の回りのことややってみようとする。 表現 身近な環境に触れた感覚や気づき、触れ合いや遊びなどで生じた気持ちを外に表す。	環境 周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、発見を楽しんだり、考えたりしようとする。 表現 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。	(1)身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で、様々な事象に興味や関心をもつ。 (2)身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたり、それを生活に取り入れようとする。 (3)身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりすることで、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。	・心に湧き上がる「なぜ?」「どうして?」などの興味・関心をじっくりと探究し、遊びに取り入れていく。 ・感じたことや考えたり試したこと、考えたり試したこと、生まれるイメージを十分に楽しむ。	・様々な環境やその中で経験を通して、じぶんの好きなことを見つけ、じっくりと探究していく。	・様々な環境やその中で経験を通して、じぶんの好きなことを見つけ、じっくりと探究していく。	・自然、生き物、音楽、素材など十分に触れ合い、そこで生まれる質感などの感覚をじっくりと味わいながら、多様な表現を楽しむ。	・身の回りの自然や様々な事象に興味・関心を持ち、友だちと気付きを共有したり、探究したりする。 ・自然、生き物、音楽、素材、食など十分に触れ合い、イメージを豊かにしながら多様な表現を楽しみ、自分の世界を広げていく。	カ 思考力の芽生え キ 自然との関わり・生命尊重 ク 数量や図形、規範や文字などへの関心・感覚 コ 豊かな感性と表現		

全体的に、指針のねらいに即して子どもの姿を捉えた時に、やや人間関係に偏っているかも知れません。保育の基本とされる「環境を通じた保育」の環境は、いわば「世界の代表」が園にある、という理解でいいでしょう。そうすると領域健康の「自ら健康で安全な生活を作り出す力」と「危険を回避する力」、自分にとって食べる量や午睡の必要性などの自己理解も、長期的な計画として表現されてもいいかもしれません。また言葉の「日常生活に必要な言葉」や「言葉に対する感覚」は会話や絵本など、自ら育つ場面も多いですが「人と交互に会話できる姿」などは、MTGなどの持ち方の工夫がある気がします。あるいは環境の「物の性質や数量の感覚」はSTEM的な素養が欠かせませんし、表現の「美しさ」などは室内の煩雑さから意識し直してみる必要も感じます。3歳からは5領域で7つの年間目標を立ててもいいかも知れません。